

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2002-513556(P2002-513556A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願2000-547119(P2000-547119)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 K 47/48 (2006.01)
A 6 1 K 49/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
C 0 7 K 16/18 (2006.01)
C 0 7 K 16/46 (2006.01)
C 0 7 K 19/00 (2006.01)
C 1 2 P 21/02 (2006.01)
C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
G 0 1 N 33/574 (2006.01)
G 0 1 N 33/577 (2006.01)
C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00	Z N A A
A 6 1 K 39/395	D
A 6 1 K 39/395	N
A 6 1 K 47/48	
A 6 1 K 49/00	A
A 6 1 P 35/00	
C 0 7 K 16/18	
C 0 7 K 16/46	
C 0 7 K 19/00	
C 1 2 P 21/02	C
C 1 2 Q 1/02	
G 0 1 N 33/574	
G 0 1 N 33/577	B
C 1 2 N 5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月21日(2006.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 線維芽細胞活性化タンパク質に特異的に結合する、配列番号2に記載のアミノ酸配列を含む抗体タンパク質。

【請求項2】 更に配列番号12に記載のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の抗体タンパク質。

【請求項3】 更に配列番号20に記載のアミノ酸配列および配列番号22に記載のアミ

ノ酸配列を含む、請求項 1 または 2 に記載の抗体タンパク質。

【請求項 4】 請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の抗体タンパク質をコードする DNA 分子。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の DNA 分子を有する宿主細胞。

【請求項 6】 請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の抗体タンパク質を生産する方法であって、以下の工程を含む方法：

(a) 請求項 5 に記載の宿主細胞を、前記抗体 タンパク質 が前記宿主細胞によって発現される条件下で培養する工程、

(b) 前記 抗体 タンパク質を単離する工程。

【請求項 7】 放射性同位元素、好ましくは¹³¹I、¹²⁵I、¹⁸⁶Re、¹⁸⁸Re、または⁹⁰Y に結合した請求項 1 ～ 3 に記載の抗体タンパク質。

【請求項 8】 請求項 1 ～ 3 または 7 に記載の抗体タンパク質および製薬的に許容できる担体を含む医薬組成物。